

海外短期プログラム参加者 報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
		※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	同済大学 (国名: 中国)	
参加プログラム名	同済大学サマープログラム	
プログラム期間	2017 年 9 月 ~ 2017 年 10 月	
学部/学府・年次	工学部電気情報工学課	1 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 無 「有」の場合、免除額を記入してください()	
	航空運賃はいくらかかりましたか? (3万円ぐらい)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例: 教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) 全部合わせて10万円です。	
このプログラムを選んだ理由	1. 中国の上海を安全に旅行したい。 2. 中国語の実力をもっと伸ばしたい。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()月から) 2. 大学院進学 3. その他 (具体的に: まだ決めていない)	

1. 参加プログラムと大学について	
プログラム(カリキュラム等)の概要について	内容は大体同じです。然し、順序が勝手に変更された場合が多かったです。
主催大学のサポート体制について (語学面/勉学面/精神面/住居・生活面など)	何人かの中国人の大学生がサポーターしていて、会話の練習には役に立ちました。
プログラムおよび大学に対する感想	同済大学ではこのプログラムを大学レベルではなく日本語学科レベルで行われています。これ自体は問題有りませんが、このせいで大学の色々な施設を利用できるようにする支援が足りないことはよくなかったです。例えば、学食と図書館が使えなかったです。私はこのプログラムを申し込みした理由の一つは中国の大学文化を味わうことでしたけど、これがうまくできなくて残念でした。

<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>このプログラムを通じて中国を旅行したいなら、私はこのプログラムに参加することよりそのお金で中国を旅行をする方がいいと思いました。 このプログラムを通じて中国人の友たちを作りたいなら、中国語の言語テーブルを利用する方がよりいいと思いました。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>旅行ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>ソウル</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>パスポート、飛行機予約確認書、旅行計画書、お金</p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>2週</p>
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	
<p>3. 日常生活</p>	
<p>日常生活の概要、感想</p>	<p>中国には美味しい食べ物がたくさんあってよかったです。</p>
<p>生活費(全期間)及びおおよその内訳</p>	<p>大体3500元ぐらい使いました。</p>

日本から持参した方がよいもの (PCや変圧器等の要不要も)	特に有りません。
日常生活 (治安対策を含め) に関するアドバイス	上海の治安は結構いいでした。
お金の管理や受け取り (銀行口座開設や海外送金, またはクレジットカード持参など) について, 貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	私は現金で4000元を持って行きました。それで十分でしたけん、ほかのシステムはあまり知らないです。
4. 宿舎、生活環境	
宿舎の種類 (○印をつける)	・大学の寮 ・ホテル・その他()
立地	大学から歩いて10分ぐらいです
伝えたい地域情報、生活情報	食べ物がとてもやすいです。特に果物がやすいです。
5. その他の特記事項	